

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
数学	数学A	1	2	必修

到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数	* 場合の数を求めるときに基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
1学期期末	3 順列 4 組み合わせ 第2節 確率 5 事象と確率	* 場合の数を求めるときに基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
2学期中間	6 確率の基本性質 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	* 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
2学期期末	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図	* 平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
学年末	第2節 空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 第3章 数学と人間の活動 第1節 整数の性質 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 n進法	* 空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 * 最大公約数、最小公倍数と素因数分解、整数の余りと1次不定方程式、記数法など、整数の様々な性質を、それらの関係も含めて深く理解し、種々の問題の解決に活用できるようにする。	

評価方法と評価のポイント	知識・技能・・・定期考査、小テスト 思考・判断・表現・・・定期考査、課題提出、学習活動への参加態度 主体的に学習に取り組む態度・・・小テスト、課題提出、学習活動への参加態度
---------------------	--

教科からのアドバイス

必ず復習を行い、授業内容を一度振り返ることが大切。傍用問題集を活用して、常に問題演習に取り組む。また、わからない点が出てきたときは、すぐに友達や教員に質問し、一度は理解することに努める。

一問でも多くの問題を解こう！